

「岩手ようごの会」 第9回実践交流会のご案内&第8回の報告



平成28年11月8日

岩手ようごの会 代表 堀籠ちづ子

第40回岩手県養護教諭研究大会の開催にあたり、心からお喜び申し上げます。

さて、本会は実践交流を主な目的として平成26年度にスタートし、お陰様で下記のとおり第9回実践交流会を開催できる運びとなりました。これもひとえに皆様のご支援によるものと深く感謝申し上げます。

交流会では、毎回テーマを設定し、話題提供、参加者間で実践の紹介や交流を行って相互の実践に触れる機会としています。今後も気軽に実践を交流する場として継続してまいりたいと考えておりますので、ご参加のほど心よりお待ちしております。

.....第9回 実践交流会のご案内.....

テーマ 「保健室経営計画 ～評価を中心に～」

* 日 時：平成28年12月3日(土) 10:00～12:30

* 場 所：アイーナ6F 団体活動室3

保健室には毎日、様々なニーズを持った子どもたちが訪れています。養護教諭にとって重要な職務である「保健室経営」は、「保健室経営計画」に基づいて教職員、家庭、地域などと共に推し進められています。

11月に入り、「保健室経営計画」を見直す時期が近づいてきていますが、皆さんは立案する際にその評価をどうされていますでしょうか？平成24年度県内養護教諭職務に関する調査では、自己評価は「まあまあ」やれているけれど、他者評価と評価計画の作成は、「難しい」という結果でした。

第9回は、「保健室経営計画」の評価を中心に、皆さんと実践を交流していきたいと思えます。お気軽にご参加ください。また、計画作成が難しいと感じられている方等のご参加もお待ちしております。

ご参加の先生は、可能な範囲で自校の保健室経営計画や評価計画を1部ご持参お願いします。また、困難感や課題があればお待ちしております。**お申し込みは不要です。直接、会場にお越しください。**

第8回実践交流会の報告

第8回のテーマは、「学校救急看護～救急処置事例検討 part II～」とし、平成28年9月3日(土)に開催しました。子どもの突発的な発病やけがが発生した際、養護教諭として子どもに行う観察・判断・行動(救急処置)等について救急事例のシミュレーションワークと交流を行いました。今回は、初めてワークタイプの交流会を実施しました。救急と言う緊迫したテーマながらも、和やかな交流会となりました。

<実践交流会の様子>

①シミュレーションワーク

心停止の事例について、養護教諭が行う観察・判断・行動をAED到着まで時系列にシートに記入。その後、自校の救急体制に従い、救急車要請、保護者連絡、その他救急時に必要な対応について、救急隊へ引き継ぐまで教職員が行うことと養護教諭が行うことに分けてシミュレーションワークを行いました。

②DVD視聴・・・「養護教諭のためのフィジカルアセスメント2 教職員と学ぶ救急救命の基本」

(大谷尚子 他編著:「養護教諭のためのフィジカルアセスメント2」 日本小児医事出版社 2013年)

③実践交流・・・シミュレーションワークとDVDの視聴後、校種毎に実践交流しシェアリングを行いました。

<実践交流とシェアリングの紹介・・・抜粋>

- ❖自分自身の救急時の力量やあり方を振り返る機会となった。シミュレーションすることの大切さを実感した。
- ❖養護教諭として気がかりな救急をテーマにしてもらって良かった。❖校内救急体制を見直す必要を感じた。今年度の校内研修会で、救急車要請は管理職と確認した。生命にかかわる事故発生時に、発見者が直接119番通報することは生命の確保に繋がることを実感した。これに対して先輩より、その根拠として平成28年3月文部科学省通知、「学校事故に関する指針」P27・29を参照とのこと。❖校内救急体制の確認は、校内研修が大事である。AEDの使い方等ばかりではなく、誰がどう動くか流れを確認することが大事である。❖DVDを見て、救急を前提としたと教職員の携帯電話所持・使用について校内の理解をどう進めるか難しいと思った。❖救急時における子どものプライバシー確保の仕方について参考になった。シート等で確保する準備をしたい。❖学校行事を始めとして、私たちは応急処置に救命の意識を持ち、準備・対応することが必要とされていると思った。<実践交流会に参加しての感想> *他者の実践や目線を共有でき、持ち帰ることが出来る。

*自分の実践発表を踏まえて他の先生の工夫や疑問を交流できる。*参加したほとんどの方の実践やお話が聞ける。